

P2 実験室利用申請書 (例)

提出日 年 月 日

実験責任者 〇〇 〇〇	所属 〇〇 講座	連絡先	内: 〇〇〇〇、PHS: ××××
		メール	〇〇@med.kitasato-u.ac.jp
共同実験者 〇〇 〇〇 ×× ××	所属 〇〇 講座	連絡先	内〇〇〇〇
		メール	〇〇@med.kitasato-u.ac.jp
	所属 ×× 講座	連絡先	PHS : ××××
		メール	××@med.kitasato-u.ac.jp
実際に P2 室で実験する人			
実験の種類 いずれかを囲む。	組換え DNA 実験	承認番号	
	バイオセーフティー実験	承認番号	
	その他 MACS を用いた細胞分離		
実験期間	〇〇年 〇〇月 〇〇日 ~ 〇〇年 〇〇月 〇〇日		
扱う生物材料	<ul style="list-style-type: none"> • 臨床検体 (血液) • マウス培養細胞〇〇〇〇 (fibroblast 由来) • EB ウイルスとヒト血液由来リンパ球 (臨床検体) • レトロウイルス (Pax5) とマウス P3X8 (マウス赤芽球由来) • マウスより採取した骨髄細胞 <li style="text-align: center;">等 		
考えられる危険性 (感染様式等)	経気道感染 経口感染 等		
実験内容	<ul style="list-style-type: none"> • 多発性骨髄腫が疑われる患者の血液よりリンパ球を分離し、EB ウイルスを感染させ細胞株を樹立する。 (臨床検体の場合は、上記のように患者の病態についても記載してください。) • プラスミド DNA をパッケージング細胞 AP293 に導入し、レトロウイルスを産生させる。得られたレトロウイルスを超遠心で濃縮し、P3X8(マウス赤芽球)に感染させ、Pax5 を発現させる。 		
留意事項	ヒト生体試料を取り扱う場合には倫理委員会の承認について記載してください。		